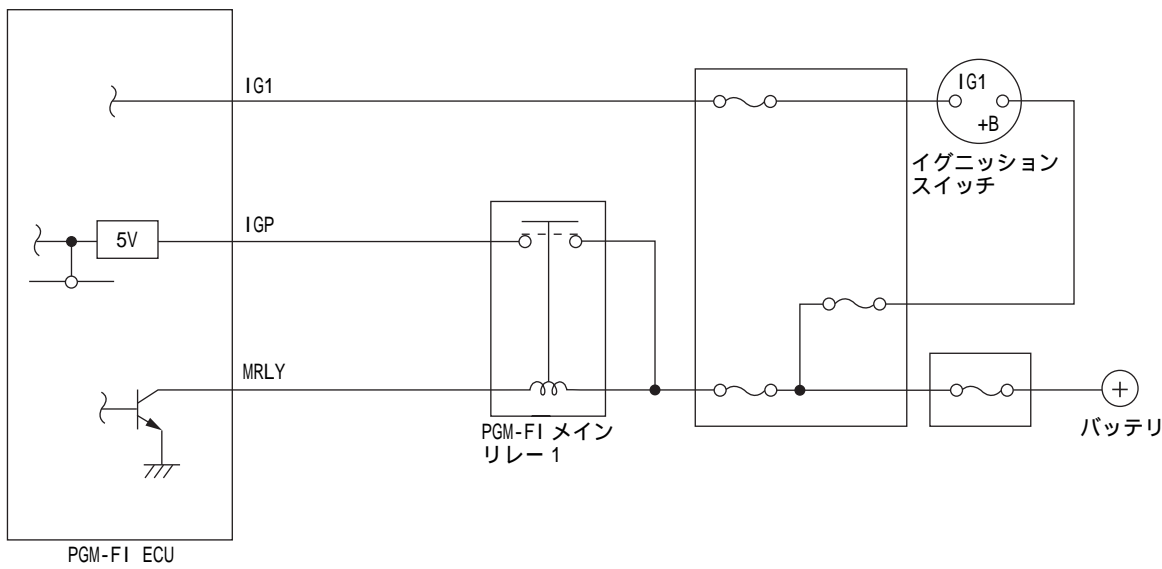


DTC 解説

DTC P0563: ECU 電源供給回路異常

検知原理解説



01_P0563C_TF0B10

PGM-FI ECU と PGM-FI メイン リレー 1 間 (MRLY ライン) が地絡となると、コンビネーション メータ、イグニッション コイルおよびフューエル ポンプ電源はイグニッション スイッチ操作に連動し、通常通り ON/OFF となるが、PGM-FI メイン リレー 1 は常に ON の状態となる。PGM-FI ECU は PGM-FI メイン リレー 1 とイグニッション スイッチの相関関係をモニタしている。イグニッション スイッチを OFF にして所定時間経過後も PGM-FI ECU が作動していた場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	5 秒間以上
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯：消灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	下限	上限
バッテリー電圧 [バッテリー電圧] (PGM-FI ECU の IGP 端子)	10.0V	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

イグニッション スイッチを OFF にしたのち、セルフ シャット ダウン完了後も PGM-FI ECU が作動中の状態で 5 秒間以上継続した場合。

推定故障部位

- ・ PGM-FI メイン リレー 1 の ON 故障
- ・ PGM-FI ECU と PGM-FI メイン リレー 1 間コード (MRLY ライン) の地絡
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

DTC 解説

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯することなく、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しによりテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。